

保健福祉相談室だより

くらしき健康福祉プラザ
保健福祉相談室
倉敷市笹沖180番地
電話 086-434-9849
FAX 086-434-9853
soudan@kgwc.or.jp

福祉用具春の特設コーナー 「快適な姿勢と動きやすさ を追求したベッド」

プラザ一階展示コーナーの一角「春の特設コーナー」では、四月から六月の三か月間、今年一月に発売されたばかりの新型の電動ベッドを展示しております。

左の写真を上下で比べてみてください。下の写真のベッドの方が少し傾いているのが分かるでしょうか。傾きがあることによって座った



姿勢により近い姿勢をとることができず、肩や腕を動かすのが難しくなり、足も下がりがついているので立ち上がりもしやすくなります。

また、水平のまま背中を上げると体がかたたり、おなかに圧力がかかって苦しくなりやすいのですが、傾いているとそれが軽減しやすいのだそうです。寝てみると傾いている感覚はよく分かりませんが、確かに足がすっとおりて立ち上がりやすいなあと思えました。ぜひ

体験しにいらしてくださいね。

冬の福祉用具特別展 「思いを伝える コミュニケーション」

去る二月二十一日(金)～

二十三日(日)の三日間、展示コーナーにて特別展を開催しました。事故や病気などさまざまな原因で音声での会話が難しい場合のコミュニケーション機器の数々を展示しました。

今回は「福祉情報技術コーディネーター」という、高齢者や障がい者の自立をサポートするためのコンピューターやその他の補助機材を提案したり、説明したりする資格を持った専門家に、説明やミニ講座、個別の相談などに対応していただきました。右下写真で一部紹介させていたと思います。写真の中には、短文を録音した声をボタ



ンを押して再生するものがあります。例えば、お菓子がほしい時に、自分が勝手に取っていくとか、逆にお菓子がほしいことを相手が察知してだまって渡されるのは一方の伝達になります。「お菓子ちょうだい」とボタンを押して表した気持ち、相手に伝わってお菓子を手に入れる、これはお互いにコミュニケーションがとれたということになり、人との関係や、気持ちも豊かになるのではないのでしょうか。

※ プラザではレンタル、販売等は行っておりません。